

平成 23 年度 第 2 回 CCC 数学グループ運営委員会 議事概要

- I. 日時 : 平成 23 年 5 月 12 日 (木) 18 時 00 分から 21 時 30 分まで
- II. 場所 : 私立大学情報教育協会 事務局 会議室
- III. 出席者 : 平野委員 (座長)、守屋委員、山崎委員 (ネット参加)、井川委員
(事務局) 井端事務局長、森下主幹、平田職員

IV. 議事概要

1. 第 2 回の議事録を確認した。

2. 今回の検討内容

☆学士力の実現に求められる ICT 活用 (授業モデル案) の中間まとめ

- ・前回会議後、担当委員が修正しメールで送信したモデル案 (資料②. 0) について他委員がさらに修正した (資料②. 1), (資料②. 1. 2)。この資料を推敲し、皆が読みやすいように 2 ページ程度にまとめることを、座長が提案した。
- ・さらに、事務局より資料①. 1 に記載の項目に基づいてレイアウトの修正が求められた。具体的には次のとおりである：
 - ◎ 到達目標 3 の訓練をどのようにするか、多様な価値観をもった学生に数学力が身に付くことを考えて、このゴールを目標に授業デザインのプロセスを作成する。5 年先の授業デザインとしてのテーマ例を記載する。
 - ◎ 修正文の“1. 背景”は、“2. 授業デザイン、・授業のねらい”に記載する。
 - ◎ 修正文の“2. 授業デザイン”は、・授業計画及び ICT を用いた授業シナリオへ授業計画の一つのテーマ例を記載する。
 - ◎ ICT を用いた学習方法を転記する。ハイパーOCW 等の直接名称は記載しない。たとえば、ネット上に公開されて共通教材利用が可能な学習コンテンツ、教育クラウドなどと説明する。
 - ◎ ICT を用いた学習内容を記載し、数学的視点を持った発見ができているかどうかの評価を行う。たとえば、他者 (テーマに関連した社会人、OB) などにネット上で意見を聞く等の評価方法も記載する。
 - ◎ ICT を用いて期待される効果を記載する。ふりかえりの際、たとえばネットを用いて外部意見を取り入れる、ファシリテーターがネットでサジェストするなど。
 - ◎ ICT を用いた学習環境について、修正案から転記する。
 - ◎ 3. 授業運営上の問題及び課題について記載する。たとえば、教育の意識についての教員間の連携、他大学との連携などの支援は一教員の域を超えて、ガバナンスによるところが不可欠であるなどを記載する。
- 到達目標 3 について作成した授業モデル案の例示の修正を述べたが、資料①. 1 の項目に基づいて、同様に、到達目標 1, 2 についての授業モデル案の例示も必要である。
- ◎ 到達目標 1 は必修科目として、大学として学士課程修了においてたとえば 15 段階ブレースメント (多様なレベルの能力) に応じて e-learning の仕組みを用意するなど。多様な価値観に応じて、学生が必修を落とさない仕組みと、単なる仕組みだけでなく、学生の学習モチベーションを向上させるようなしなせ (e-learning など) やファシリテータ

一の活用)を提案する。たとえばネット上でICTを活用し、ファシリテーターや教員(大学教員以外の教員の力が必要であるかもしれない)が、あるいは学生相互が協同学習する、学びのキャリアが見えるような確実な学習をするしかけを包括した仕組みを提案する。到達目標1は“数学をなぜ学ぶか”の動議付けなどが必要である。

- ◎ 到達目標2の授業デザインでは、グループディスカッション学習や電子黒板の活用、PBL学習等、前々回の、ICTを活用した5年先の授業デザインの提案を活用して作成する。測定方法も言及する。

3. 次回までの宿題

到達目標3の修正案を井川委員がまず原案を作る。到達目標1, 2についての資料①. 1に基づく案を作成し、次回までにメーリングリストに送信し、各自次回までに検討し修正する。

<次回委員会>

- I. 日 時 平成23年6月4日(土)9:30~
- II. 場 所 私立大学情報教育協会事務局会議室
- III. 検討事項
 - 1. 3の「宿題」の最終検討

以上